盛岡市監査委員告示第3号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項、第2項及び第4項の規定により行った定期監査の結果に基づき措置を講じた旨の通知があったので、次のとおり公表する。

平成25年1月25日

盛岡市監査委員	熊谷喜美男
同	藤尾善一
同	佐藤敬三
同	川村幸子

1 定期監査の結果の報告	平成24年10月3日付け24盛監第68号
2 対象部署及び事項	市民部に係る指摘事項
3 措置を講じた旨の通知	別添のとおり。

盛岡市監査委員 熊 谷 喜美男
盛岡市監査委員 藤 尾 善 一
盛岡市監査委員 佐 藤 敬 三
盛岡市監査委員 川 村 幸 子 様

盛岡市長 谷 藤 裕 明

定期監査の結果に基づく措置について（通知）

平成 24 年 10 月 3 日付け 24 盛監第 68 号で提出のあった定期監査の結果の報告における指摘事項に基づき、次のとおり措置を講じたので地方自治法第 199 条第 12 項の規定により通知します。

記

- 1 指摘事項（課名等 市民部 市民活動推進課）
 - （1）自動車臨時運行許可に当たり、決裁を得ていないものが 2 件見られたので、適正な事務の執行を求める。
 - （2）公印の使用に当たり、使用承認を得ていないものが 7 件見られたので、適正な事務の執行を求める。
- 2 措置の状況
 - （1）自動車臨時運行許可関係について
 - ア 措置の内容
確実に決裁が行なわれるよう決裁権者及び課員全員を指導するとともに、決裁後の事務処理方法の見直しを行なった。
 - イ 原因、予防策及び経過等を含めた内容
決裁権者及び担当者等の確認不足が原因である。今後は、決裁時に決裁権者の確認を徹底するとともに、担当者は決裁後必ず台帳との突合確認を行うことで再発防止に努める。
 - （2）公印使用承認関係について
 - ア 措置の内容
盛岡市公印規則及び公印取扱規程に基づき公印を適正に管理するとともに、公印の使用に当たっては使用承認の徹底について公印管理者及び公印取扱者を指導した。

イ 原因、予防策及び経過等を含めた内容

公印管理者が適正に管理していなかったこと、公印管理者及び公印取扱者の不在席時に事後承認を前提に使用したことが原因である。

今後は、盛岡市公印規則及び公印取扱規程遵守を課員全員に徹底するとともに、公印取扱者を複数指名し、再発防止に努める。

盛岡市監査委員 熊 谷 喜美男
盛岡市監査委員 藤 尾 善 一
盛岡市監査委員 佐 藤 敬 三
盛岡市監査委員 川 村 幸 子 様

盛岡市長 谷 藤 裕 明

定期監査の結果に基づく措置について（通知）

平成 24 年 10 月 3 日付け 24 盛監第 68 号で提出のあった定期監査の結果の報告における指摘事項に基づき、次のとおり措置を講じたので地方自治法第 199 条第 12 項の規定により通知します。

記

1 指摘事項（課名等 市民部 医療助成年金課）

(1) 公印の使用に当たり、使用承認を得ていないものが 2 件見られたので、適正な事務の執行を求める。

2 措置の状況

(1) 措置の内容

公印取扱の手續きについて、所属内で再確認したほか、公印管理者（課長）及び公印取扱者（課長補佐）が不在の場合における使用承認のため、係長を公印取扱者に加えることとした。

(2) 原因、予防策及び経過等を含めた内容

公印管理者及び公印取扱者が適正に管理していなかったこと。また、起案者が公印の使用に当たり、公印取扱規程を厳守しなければならないという自覚に欠けていたことが原因である。

課員全員で盛岡市公印規則及び公印取扱規程の再確認を行い、厳守するよう徹底した。今後は、同規則等に基づき適正な管理及び使用を行い、公印管理者（課長）及び公印取扱者（課長補佐）が不在の場合における使用承認のため、係長を公印取扱者に加えることとし、再発防止に努める。

24 盛都総第 23 号
平成 24 年 12 月 3 日

盛岡市監査委員 熊 谷 喜美男
盛岡市監査委員 藤 尾 善 一
盛岡市監査委員 佐 藤 敬 三
盛岡市監査委員 川 村 幸 子 様

盛岡市長 谷 藤 裕 明

定期監査の結果に基づく措置について（通知）

平成 24 年 10 月 3 日付け 24 盛監第 68 号で提出のあった定期監査の結果の報告における指摘事項に基づき、次のとおり措置を講じたので地方自治法第 199 条第 12 項の規定により通知します。

記

1 指摘事項（課名等 都南総合支所）

- (1) 公印の使用に当たり、使用承認を得ていないものが 1 件見られたので、適正な事務の執行を求める
- (2) 時間外勤務手当の支給に当たり、時間外・休日等勤務命令表における勤務区分の記載誤りにより、支給額に誤りのあるものが 1 件見られたので、当該時間外勤務手当について、追給の手続きを行うことを求める。

2 措置の状況

(1) 公印使用承認関係について

ア 措置の内容

契約事務及び公印の適正な使用について所属長及び課員を指導した。

イ 原因、予防策及び経過等を含めた内容

随意契約見積通知書を発送するにあたり、事務処理を誤って公印の押印を漏らしたことが原因である。今後は、書類等の発送に当たっては、副担当者も内容を確認しあうこととし再発防止に努める。

(2) 時間外勤務手当支給関係

ア 措置の内容

勤務区分の記載誤りにより、支給額に誤りのある時間外手当について、平成 24 年 10 月 11 日までに追給手続きを完了した。

イ 原因、予防策及び経過等を含めた内容

時間外・休日等勤務命令表における勤務区分の記載誤り及び決裁権者、本人及び庶務担当者の確認不足が原因である。

今後は、決裁権者の確認を徹底するとともに、本人、上司、庶務担当者複数チェックにより再発防止に努める。